

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (芋ほり 1-4歳児)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすい。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互に関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

・6/27 苗植え

→11/11 収穫 (園内)

・11/21 さつまいも掘り (園外)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

テラスにベジトラグを設置し、砂場も用意した。スモックを着用して砂遊びや土いじりを行い、土に触れる経験ができるよう環境を整えた。種や苗を身近に置き、子どもが興味をもって触れたり観察したりできるようにした。また、虫眼鏡を用いて苗や収穫したさつまいもを観察できるようにした。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・農家の方の話を聞きながら、さつまいもの苗を植える。
- ・水やりをしながら苗の生長を見守る。
- ・さつまいもを収穫する。
- ・虫眼鏡を使い、さつまいもの皮やひげ、つるなどの様子を観察する。
- ・自分たちで収穫したさつまいもをおやつで食べ、味わう。
- ・芋ほり遠足に参加し、農家の方が育てたさつまいもを収穫する。
- ・自分たちで育てたさつまいもと農家の方が育てたさつまいもを見比べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育者の手本を見ながら収穫の方法を知り、スコップを使って土を掘りながらさつまいもを探していた。掘ってもなかなか見つからず、「みつからないよ!」「どうして?」と悔しそうにする姿もあったが、保育者が声をかけると「自分で探す!」と言いながら掘り続けていた。さつまいもを見つけると嬉しそうに友だちや保育者に見せ、「どうやって食べる? やさいもできる?」と話す様子も見られた。収穫したさつまいもを虫眼鏡で見たり触れたりしながら観察する姿もあった。園外での芋ほりでは、園内で収穫したものより大きいさつまいもや様々な形のさつまいもに気づき、興味を示していた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

苗を植えたり世話をしたりしていたことで、「さつまいもはどこかな?」「大きくなっているかな?」と楽しみにする様子が見られた。自分で土を掘ってさつまいもを見つける中で、嬉しそうに保育者や友だちに見せる姿もあった。また、皮がむけている部分を見て中の色の違いに気づくなど、実際に触れたり試したりする中でさまざまな気づきにつながっていることを感じた。